

あさひの日だまり



令和8年 8月 24日 (月)

No.12

辰野町立辰野東小学校 文責 大槻

～元気に登校できることがいちばん～

26 日間の長い夏休みが終わり、8月 20 日より学校が再スタートしました。朝、昇降口で、たくさんの荷物をもって、それでも元気に登校してくる子どもたちの姿をみて、登校時に雨が振らなくてよかったな、今日はそれほど暑くなくてよかったな…と思いました。夏休み中のできごとや、作ってきた工作について教えてもらい、元気な子どもたちの姿を見て、大変嬉しく思いました。

本日の校長講話では、子どもたちに、まずは**元気に登校できたことがいちばんすばらしいこと**、元気に登校できた自分を褒めてほしいことを伝えました。そして、4月スタートしてからの6年生の素晴らしい姿を紹介しながら、「**自分なりのゴール**」を設定し、挑戦してほしいというお話をさせていただきました。素直で一生懸命な東小の子どもたちの、ここからの成長がとても楽しみです。

～校長講話より～

今日、みなさんがこうして元気に学校に来られたことを、校長先生はとても嬉しく思っています。何年か前の8月、ここ辰野町は大変な豪雨被害にあいました。その災害で、尊い命が奪われた哀しい出来事がありました。**夏休み明け、みんなが元気に学校に来られたこと、皆の命が輝いていることは、何よりもすばらしいことです。**今日、元気に学校来られたこと、そのことを、何よりも大事にして、頑張って登校した自分を褒めてくださいね。

さて今日は、「**挑戦**」することについてお話しします。辰野東小学校は「挑戦」を大事にしてきています。前期が終わるまでの間、みんなに少し意識してほしいことがあります



①

この写真を見てください (写真①)。さて、ここはどこでしょうか？ そうです、校長室ですね。

これは、**6年生が清掃をしている様子です。机の下にまで入ってきれいにしてくれています。**

ここがどこか分かりますか (写真②)？職員室の教頭先生の机の間ですね。**たくさんコードや棚があって手が届きにくいところまで、6年生が進んできれいにしている姿**です。

とてもすばらしいですね。校長先生は、6年生は、東小学校を引っ張っていく学年として、頑張っているんだな、**6年生らしい、すばらしい挑戦だな、**と思うのです。



②

挑戦というと、

「テストで100点を取ること」

「スポーツで優勝すること」

そんな大きな目標を思い浮かべる人もいかもしれません。

でも、**挑戦は大きなことではありません。**



たとえば、
6年生のように、きれいにする場所を自分で見つけて掃除する
一日1回、勇気を出して手を挙げてみる
毎朝、自分から進んで挨拶してみる
漢字練習を昨日より少しだけ頑張ってみる



こうした「自分ならできそうだ」「これなら続けられそうだ」と思える目標を立てることが、挑戦の第一歩です。

ここで、先生の子どものころの話をしてします。

校長先生は、かけっこが得意で、陸上部に入っていました。50mまではいつも一番でした。でも、残りの50mで抜かれてしまうことがありました。先生の娘は400mの選手です。娘は先生と反対で、残りの100mで競争相手を抜く選手です。先生の息子は3000mの選手です。短い距離が得意な先生とは反対で、息子は長い距離を走るのが得意です。

**人にはそれぞれ得意なところと、少し苦手なところがありますね。
それでいいんです。**

人によっては、50メートルがゴールでもいい。100m先のゴールは遠くても、その50メートルをもう一度積み重ねていけば、いつか自分が目指していたゴールにちゃんとたどり着く。

大事なのは、まず、自分が達成できる目標をもってみることです。

6年生がお掃除での頑張りを続けているように、小さなゴールを一つずつ達成していくうちに、気づいたら前よりできることが増えている。その積み重ねこそが、みんなを成長させてくれます。



小さなゴールを決めて、頑張れそうですか？

前期が終わるまでの間に、ぜひ「自分が挑戦できる小さな目標」を一つ決めてみてください。みんなの挑戦を、校長先生は楽しみにしています。

